

SPECIAL ITEM

従軍慰安婦問題

軍従の軍
所調査
慰安所

二畳の部屋、19並ぶ

事実隠し? 「兵寮」と記録

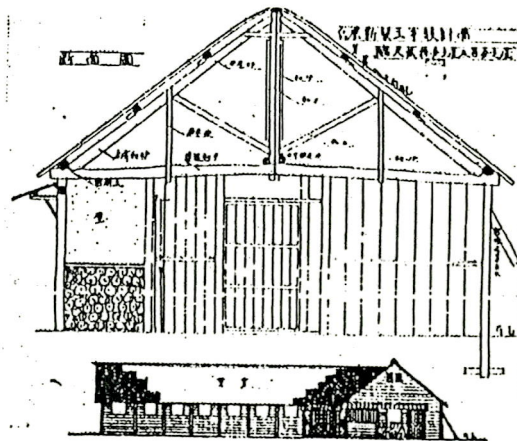
「いつ慰安婦として連れ出されるか分からず、おびえる日々でした」。沖縄の女性グループ「沖縄女性史を考える会」などによる従軍慰安所の地道な調査は、歴史の闇(やみ)に埋もれた戦時の「暗い過去」を浮かび上がらせた。

一九四四年十月十日の沖縄大空襲のころ、那覇市に住んでいた女性、メンバーに証言した。

「あそこは我が家の貸家だったんです。私の家の敷地にあった一棟で、薬店と理髪店に貸していた。そこを追いつき、兵隊が追いつ

えた。大きな家だった。女の人たちは二十人ぐらい。あなたも慰安婦をやりま

せんか」と言われたこともあり、仰ぐて顔に墨を塗って隠していた」



「陣中日誌」の中から見つかった慰安所設計図の断面図(上)と正面図

メンバーは文献も読みあさった。防衛庁防衛研究所図書館に所蔵されている「陣中日誌」には軍の行動が細かく記され、伊江島に作られた慰安所の設計図があった。かやぶきの平屋建てで建築面積一五三・四一平方メートル、イ、ロ、ハ……と二畳大の部屋が十九並んでいる。設計図には「兵寮」とあるが、部屋割りなどからまさしく慰安所。日誌の中の「慰安所」の記述がある時、「兵寮」という言葉に置き換えられていることも見抜き、「事実隠し」と確信したという。

「石兵団会報」からは、「国場(那覇市)付近ノ地方ハ慰安所ノ設置ヲ嫌ヒアリテ種々苦情ヲ申込ミアリ」と、慰安所設置に地元住民が反対していたことを示す記述も見つかった。

メンバーは、当時国場に住んでいた女性を捜しあて、女性から「国場にはなかったけれど、兵隊が(近くの)仲井真の公民館に慰安所がある」と話すのを当時聞いた」との証言を得た。

調査にあたった「考える会」の賀数かつ子さん(シ)は「元慰安婦だった女性たちが私たちの周りで沈黙を守り、平穏に暮らしている。でもこの調査が戦争犯罪の追及につながるかもしれない」と話している。

沖縄国際大の安仁屋政昭教授(日本近代史)は「防衛庁は資料を公開しているというが、隠していない」というだけの意味。膨大な資料で、これらを分析する作業は容易ではなく、きつちりと調査する必要がある」と語る。

毎日10・19

所カ21以上

ンボ実行委員会「強制連行問題」部会の十八日までの調査で分かった。朝鮮人五百九十人以上のほか、沖縄や本土から約三百人の日本人も駆り出されて計約九百人に上る女性が慰安婦として動かされていた実態も判

「言語に絶する虐待」伝えたい

「元従軍慰安婦が語る恨(ハン)」 きょう、森ノ宮ピロティホールで



従軍慰安婦だった日々を証言する金大日さん—今年8月に平壤で、伊藤孝司さん撮影

北朝鮮で初 日本人調査団が聞き取り 調査結果を報告

朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)で従軍慰安婦の聞き取り調査をした「朝鮮人強制連行真相調査団全国連絡協議会」(事務局・北区、栗原透代表)は二十九日午後六時、中央区森ノ宮中央の森ノ宮ピロティホールで、調査報告会「元従軍慰安婦が語る恨(ハン)」を開く。北朝鮮で日本人調査団が聞き取り調査をしたのは初めてで、メンバーが集めた元慰安婦たちの生の声は注目される。

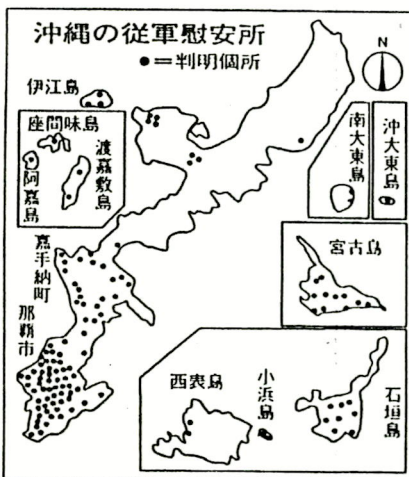
協議会のメンバー十三人は、今年八月十二日から十八日まで訪朝、元中国大陸の慰安所を巡った。また金大日さん(七三)は、今年八月十二日から十八日まで訪朝、元中国大陸の慰安所を巡った。また金大日さん(七三)は、今年八月十二日から十八日まで訪朝、元中国大陸の慰安所を巡った。

協議会によると、元慰安婦の李福淑さん(七三)は、中国東北部で八年間「慰安所」に生活を送った。その間、慰安婦を拒否した女性には殺されるなどの虐待を受け、殺された後にはまた別の女性に「補充」されていったと証言。逃に失敗した時は、焼けた鉄板をしりこに押し付け、そのやけどの跡は「エコーミスト」(十一月十七日号)に掲載された。

協議会事務局長の空野佳弘弁護士は「戦後処理問題を考えるためには、私たちが事実を正確に知る必要がある。政府に対してこの結果を提出したい」と話している。空野弁護士は「戦後処理問題を考えるためには、私たちが事実を正確に知る必要がある。政府に対してこの結果を提出したい」と話している。

沖縄の従軍慰安所 1

女性グループ調査 朝鮮人は590人



第二次大戦中、国内で唯一地上戦の舞台となった沖縄で、当時百二十一カ所の従軍慰安所が作られていたことが、沖縄の女性グループと九州弁護士会連合会など

その結果、公文書には残らなかった慰安所も判明、確認された百二十一カ所のうち朝鮮人慰安婦のみの慰安所が四十一カ所と最も多かったが、沖縄県民のみ三十八カ所、沖縄以外の日本

従軍慰安婦に関する資料では、沖縄関連の慰安所は九カ所の記載しかないが、文献分析や聞き取り調査を実施し、埋もれた沖縄の歴史的事実を突き止めた。同部会はこの調査結果を二十四日那覇市で開かれる「第四十五回九井連大会シンポジウム」で発表し、戦争被害補償につなげていくために、今後調査を進める。

(社会面に関連記事)

調査は「沖縄女性史を考える会」のメンバーが中心となり、今年二月から実施。防衛庁防衛研究所図書館所蔵の「陣中日誌」「石兵団会報」など旧日本軍の文書、県内の市町村史などから位置や内容を確認、証言も集めた。

その結果、公文書には残らなかった慰安所も判明、確認された百二十一カ所のうち朝鮮人慰安婦のみの慰安所が四十一カ所と最も多かったが、沖縄県民のみ三十八カ所、沖縄以外の日本

人四カ所のほか、この女性グループが独自調査した慰安所もある。建物の大半は民家や公民館、病院が使われ、一カ所当たりの慰安婦の数は二、三人から五十人ぐらいだった。

政府は今年七月、従軍慰安婦に関して防衛庁、外務省などが所蔵する計百二十七件の資料を発表、慰安婦の募集規定、慰安所の経営・監督などに政府・旧軍が関与していたことを認めた。沖縄関連資料は、防衛庁二十二件など計二十四件で、「真部山慰安所」「軍人俱樂部」「桑江慰安所」など九カ所の慰安所の記述しかなかった。

「従軍慰安婦」などの著書がある千田夏光さんの話に、沖縄についてこれほど大規模な調査は初めて。沖縄は国内で慰安所が最も多くつくられた地といわれ、今回の調査は当時の実態にかなり近づいていると思う。政府はこれまで実態調査などしたことはなく、埋もれた歴史的事実に光を当てた調査の意義は大きい。

毎日10・19

軍事郵便貯金と慰安婦

戦前の軍事郵便貯金の払い戻しを求め続ける元従軍慰安婦の韓国人文玉珠さん（右）の訴えが波紋を広げている。軍事郵便貯金は慰安婦と軍の関係を示す有力な資料となるだけに、元慰安婦への補償を含め、日本の戦後補償と絡んで今後、大きな問題に発展しそうだ。

五月の交渉で、熊本貯金事務センターに文さんの当時の日本名「文原玉珠」名義の原簿があることが分かった。残高は利子も含め計約五万円。



軍事郵便貯金の支払いを求めて、局員に詰め寄る文玉珠さん（右）＝10月22日、山口県下関市の下関郵便局

貯金まで奪うのか

元慰安婦の訴えに波紋

【前編】

「日本は私の人生を奪った上、私を休ませるためにお金までも奪うのか」。文さんは三月、戦時中強制連行されたビルマ（現ミャンマー）で軍人からのチップ

文さんは四回にわたり同郵便局を訪れたが、局側は「日韓請求協定など請求権は消滅済み」との回答を繰り返すばかり。今月二十日には、玄園前に並んだ局員に「客の迷惑になるので帰ってほしい」と面会

名乗りを上げている。今後、慰安婦問題解決のネックが相次ぐとみられる。

【有力な資料】

軍事郵便貯金は軍人、軍士などを利用した。原簿は文さんが軍属扱いとされていた従軍慰安婦だったこと

の二つは、当時の正確な記帳が残っていないこと。文園から個人補償を求める声さんが原告の一人となつて訴えを「門前払い」するだ

（共同）

日中戦争の賠償について、中国側は日中共同声明（一九七二年）で「日中両国民の友好のために、日本国に対する戦争賠償の請求を放棄することを宣言する」とした。

天皇訪中時の公式謝罪を求めるとともに、組織的な請求運動を展開している。

とくに重要視されているのは、従軍慰安婦と約四万人に上る中国人労働者への賠償。

戦中、日本に強制連行された中国人労働者は、過酷な作業と虐待で約九千人が死亡し、または行方不明になったといわれる。

動について、中国側は「戦中、日本に強制連行された中国人労働者は、過酷な作業と虐待で約九千人が死亡し、または行方不明になったといわれる。」

ては、道内の炭鉱に強制連行され、終戦を境に十三年間、山野に潜んで逃亡生活を送った劉連仁さんの例がある。劉さんは一九五八年に発見された直後に肉体的、精神的損害の賠償を日本政府に求めたが、政府は「資料がない」と、これを拒絶した。

現在、日本政府は「賠償問題は日中共同声明で決着済み」とし、民間からの賠償要求については応じられないとの立場をとっている。

民間賠償

「慰安婦」など急浮上

旧日本軍に強制連行された従軍慰安婦の数は不明だが、今年八月、元慰安婦、遺族らが総額六十

七万円の賠償を日本政府に求めた。こうした国内の民間運動について、中国側は「戦中、日本に強制連行された中国人労働者は、過酷な作業と虐待で約九千人が死亡し、または行方不明になったといわれる。」

た。ただ、従軍慰安婦問題には「日本側が徹底的に真剣に対処、処理する」との姿勢を示している。

【香港26日＝津田邦宏】第二次大戦における従軍慰安婦、軍票などの補償問題が、戦後補償をめぐる戦後補償特別委員会のメンバーら八人の調査団（土井たけ子会長）が二十六日、香港を訪れ、旧日本軍が香港を占領時代に発行した軍票の調査団は、二十七日には補償運動を続けている香港、台湾に回り、慰安婦問題な

索償協会（呉滋興主席）関とについて事情を聞き取った。

朝日10・27

福祉施設の建設を

従軍慰安婦問題

政府は十日までに、第二次世界大戦中の朝鮮人従軍慰安婦に対する個人補償に代わる、何らかの措置として、福祉施設の建設を検討していく方針を固めた。

加藤長官は、何らかの措置について、今年中には行いたいとの意向を重ねて表明している。しかし、同国の大統領選が十二月に予定されていることから、「話を急いで進めても、大統領が交代してしまつたら振り出しに戻る恐れもある」（政府筋）との判断から、具体的に話が進むのは早くとも年末か年明けになりそうだ。

沖縄10・29夕

福祉施設構想は、日韓両国の非公式の折衝のなかで、韓国側から提起された。具体的には元従軍慰安婦で老後、身寄りのなくなった人々を収容する老人養護施設などを想定している。このほか老人病院の建設なども検討対象にのぼっている。

政府は韓国に対する戦後補償問題について、昭和四十五年の日韓請求協定で

戦後補償めぐり 香港で聞き取り 社党調査団

係者らから、当時の香港の様子、現在の活動状況などを聞いた。

産経10・11

【前編】

【有力な資料】

【戦後補償めぐり

【香港26日＝津田邦宏】

【戦後補償めぐり

【戦後補償めぐり

【戦後補償めぐり

【戦後補償めぐり

朝日10・27

「突撃一番」は非常識

「かつて旧日本軍兵士が使用したコンドーム名『突撃一番』を、製品のキャッチフレーズとして使用しているのは非常識」と、三十日までに大阪市内の女性グループがゴムメーカー「オカモト」(本社・東京都文京区)に対し抗議した。近く在日韓国人女性らでつくる「朝鮮人従軍慰安婦問題を考える会」も抗議を行う予定。従軍慰安婦問題など「戦争犯罪」が注目

コンドームの宣伝コピー

た女性たちの相談活動などを行っている「性暴力を許さない女性たちの会」が「オカモト」によると、虐待を連想せざるを得ない。

女性グループが「旧軍の女性虐待連想」

毎日10・30夕大阪

従軍慰安婦問題を尹貞玉さんに聞く

韓国における従軍慰安婦問題の中心的グループ「韓国挺身隊問題対策協議会」代表の尹貞玉(ユンジョンオク)元梨花女子大学教授(67)が来日、このほど中野区内で講演した。彼女と同時世代のアジアの女性を、軍人の性欲処理のため駆り集め使い捨てた暗く重い歴史。被害国側からの発言の要旨を。

誠意ある真相究明と謝罪を

「私たちは終戦まで、従軍慰安婦など知りませんでした。戦中戦後は動員挺身隊の名でみな連れていかれましたからね」
「慰安婦は十万人から二十万人いたと言われています。今名乗り出ているのは韓国で六十七人、北朝鮮で百三十人。初めて申告した人は一人ですが、皮肉なことに日本のおかげでこんなに名乗り出たのです。一九九〇年六月に国会の参院で政府が「あれは民間がやっただけで軍は関係なかった」と答弁しましたね。こ

「教科書に記述を」
比の元慰安婦が手紙
宮沢首相に
「マニラ5日」大野拓
司「太平洋戦争時に「慰安婦」として日本兵の相手をした」とフィリピンで初めて名乗り出たマリアロ
比で「元慰安婦」二人目
「マニラ10日」大野拓
司「フィリピンの新聞各紙が十日前に発表したところによると、同中部のパナイ島イロイロ市で太平洋戦争時に「慰安婦」として日本兵の相手をしたと名乗り出た。フィリピン女性人権団体などによるラジオの呼びかけに応じて名乗り出たのは、ルソン島パンパン市の元慰安婦に続いて二人

東京10・19



江で教員研修

慶尚北道と姉妹交流をして
いる島根県で、こうした簡
略に焦点を当てた教員研修
が九月二十九、三十
中心に、三人の講師の話を
教科書との比較検討をし

韓国人講師招き討論

継続的研究の
動き芽生える

同センターの長井博
主事は「日本と朝鮮半島の
近現代史には、きついこと
では済まない事実がある
る。その部分の理解を進め
るきっかけになれば、と企
画」と話す。今回の研

「従軍慰安婦」強制連行」どう教える

「従軍慰安婦」「強制連
行」などの事実を日本史の
中でどう教えるかー韓国・
研修では、朝鮮王朝に対
を深めるには同じ歴史認識

を犠牲にした」とある強制
連行の記述が、日本の教
科書では「強制連行など
安婦の問題などどう教
えればよいのか」「韓国の領
土になつてゐる竹島は、
島根も領有権を主張して
いる。郷土の問題で避けて
通れない」との悩みが出さ
れた。

窓

論説委員室から

アムステルダムにあるアンネ
・フランクの隠れ家を見学に訪
れた日本人が、声高に叫んだ。
「しかし、あれだよね、ナチス
が踏み込んだとき、日記も片付
けていれば、こんなに有名には
ならなかったらうな」

「これ以上、話せません。み
なさんが同じ体験をされたな
ら、どんな気持ちになるか、あ
とは想像してください……」
アジア太平洋各地域から、日
本に戦後補償を求める動きが急
である。「加害者」との指摘に
対して、率直なままだいや嫌悪
感を表す人々も多い。

想像する力

「想像する力」
だが、大切なのは、想像力だ
と思ふ。そして、それを働かせ
るためには、知ることから始め
る必要があるのではないのか。

地方版で「子どもたちが見た
戦争」という連載をしたときの
ことだ。打ち合わせの席で、若
い記者が私にこう話した。
「戦争」について、具体的に
れしくなった。

先ごろ東京都内で元従軍慰安
婦の話を聞く集いが開かれた。
喪服の白いチョゴリ姿の婦人
が、途中でたまらずに声をつま
らせた。

「戦争」について、具体的に
れしくなった。

朝日10・15夕

賠償求めて提訴

強制連行
され労働 韓国の元挺身隊員ら

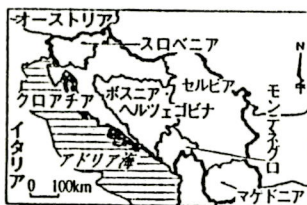
富山

太平洋戦争中強制連行さ
れ、富山市の工作機械メー
カー「不二越」の軍需工場
で働かされていた元女子挺身
隊員（以下、隊員）李鍾
淑さん（68）、田嶋さん（66）
と元男性徴用工の高徳煥
さん（68）の元々も韓国江
原道住居の三大が三十日
午後、同社に当時の未払い
賃金、慰謝料などの賠償金
計約二千万円と、謝罪広告
の新聞掲載を求める訴えを
富山地裁に起こした。
最近、戦後補償を求める
訴えが相次いでいるが、元
女子挺身隊員が当時の雇用
者（不二越）の民間企業を訴えたのは
初めて。
訴状などによると、不二
越は千八百人以上に上る朝
鮮人を強制連行し、劣悪な
環境で労働させた。田さん
は昭和十八年に十四歳で、
李さんは十九年に十二歳で
それぞれ挺身隊員として連
行され、終戦直前まで不二
越で働いた。「働きながら
勉強でき、女学校の卒業証
書ももらえる」と言われた

河北10・1

「サエボなどには兵士のための慰安婦を収容する施設があり、捕まったセルビア女性に性的暴行を受けている。少女も含まれている。私は慰安婦にさせられ、妊娠し解放された女性に取材した」。連日殺りくが繰り返すニア・ヘルツェゴビナ紛争。セルビア人武装勢力による他民族の強制的移動や虐殺が国際的に取り上げられる一方で、セルビア人も内戦の被害者となっている。人間を狂気に陥れた内戦、女性虐待の実態を暴露した女性記者の記事がユーゴスラビア内で反響を呼んでいる。

ミレーナ・マルコビッチ
さん(左)は、十三万部とい
うユーゴでは最大部数を持



「女性虐待を世界はどうして黙っているのか」と訴えるマルコビッチ記者

中絶手術を受けようとしたが、医者は危険だとして拒否した。彼女は、やみで中絶手術を受けようとして

「鼓動 最前線」は
毎週木曜日に掲載しま
す。

可
北
10
·
29

あるセルに
込められた経験もある。

あるセルビア女性の悲劇

(ボスニア・ヘルツェゴビナ)

入で暮らしていた。近郊の都市リブノに連
泊通邦軍のセルに誘われて行かれ、民家を利用し
に参加、一人故た施設に収容され、三月月連
た。ある日、クロアチア軍が来た。施設には他の女性も
村を興弊、G収容され、男たちが訪れて
・Tさんは兵いた」
とクロアチア軍を告発す
るマルコビッチ記者。クロイ

「チクラナという住居地に彼らは楽器を大きな音で鳴らし続けた。特に負傷兵はヒツモスラム教徒側の軍本部の近くだった。初めは彼だけを引き続き来たが、彼は戦死。その後は多数のイスラム教徒が来た。一度に兵六人来て彼女に相手をさせた。悲鳴が聞こえないように。」「二人のデラリア軍はその後サラエボに移動、この女性も一緒に連れて行かれた。記事は続

「もう正常でない」

「この内戦ではたくさんデマやうわさが流されている。私は報道記者として実を伝えたい」とマルコツチ記者は強調する。

G・Tさんの記事について

慰安所に強制連行

内戦の「狂気」
妊娠後に解放

マルコビッチ記者が取材した女性にはボスニア南西部

「兵士は彼女の学生時代の知人だった。彼女はかつてその人との交際を拒否したことがあり、今回は紛争を利用した復しゅうだっ

さんはマルコビッチ記者の戦争犯罪です。でもユーゴ取材に対し、震えながら当時は振り返ったという。既された状態だとマルコビッチ記者は語る。

記事はG・Tさんの言葉

で結ばれている。「私はもう正常な人間ではない。夫が子供たちと普通の生活を送れるよう祈るだけだ」